

授業科目名(英文名) / Course title	始動学修：考察（富山の地域づくり） / Integrated Studies: Reflection				
担当教員(所属) / Instructor	大西 宏治(人文学部)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 基礎科目 社会的変化への対応（選択）				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2026年度 / Academic Year 第2ターム / Term 2 他	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目a		
時間割コード / Registration Code	103455	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3年 ,4年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00131-0300				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	大西 宏治				
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://moodle51.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2026_103455				
各種教育プログラム1 / Various educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various educational programs2	ENGINE・リテラシー科目				
各種教育プログラム3 / Various educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various educational programs5					
SDGsとの関連 / Related SDGs	4 : 質の高い教育をみんなに 8 : 働きがいも経済成長も 9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 : 住み続けられるまちづくりを				
昨年度からの改善点 / Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け（一般学修目標） / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見につながる個別主題に関連した基礎知識を身につけ、活用する力をつける（幅広い知識） ・主題に関する課題に目を向け、問題を発見する（問題発見・解決力） ・グループワークなどを通して、他者の考えを理解し、自らの考えも情報発信する力をつける（コミュニケーション能力） ・問題の解決に向けて、自分の専門性や個人的資質が果たす役割に関する理解を深める（社会貢献力）。 <p>この授業は、富山県や富山市の職員がゲスト・スピーカーとなって、それぞれが組むまちづくりについて、リレー式で授業を行うものである。</p> <p>県や市町村などの地方公共団体、そして国は、我々が暮らすまちを住みよいものにするために、様々なサービスを提供している。そのことを「まちづくり」と言い表すことがある。かつて、まちづくりは御上が行うもので、市民がそれに対して意見を出したり、自分たちで街づくりに取り組んだりすることはなかった。しかし、現在では行政は市民の声を取り上げたり、まちづくりへの市民の参画を呼びかけたりしている。そのような流れの中、富山市はどのようなまちづくりに取り組んでいるのかを知ることが、この授業のねらいである。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<ul style="list-style-type: none"> (1) 主題に沿った課題についての知識を身につけ、問題点を見いだすことができる。 (2) 主題に沿った学修を通して見いだした問題点について、多角的・理論的に分析し解決策を提案できる。 (3) 問題点や解決策の検討にあたり、他者の考えを理解し、意思疎通しながら自らの意見を提示できる。 (4) 上記問題の解決策について、自らの役割を認識できる。 					

授業計画（授業の形式、スケジュール等） / Class schedule	
富山市や各種団体からのゲスト・スピーカーの講義をもとに、ディスカッションを行う。授業計画は富山市と協議ののち以下のものから変更される可能性もある。	
第1日目	
第1回 オリエンテーション：まちづくりとは？	
第2回 富山県の観光戦略（富山県観光戦略室）	
第3回 富山県における農業戦略（富山県農産食品課）	
第4回 富山県の農業のこれからを考える（ワークショップ）	
第2日目	
第5回 富山市の中心市街地活性化の取り組み（富山市まちづくり推進課）	
第6回 選ばれるまちづくり（富山市広報課）	
第7回 富山市の未来共創（富山市スマートシティ推進課）	
第8回 富山市の未来共創を踏まえたワークショップ	
授業時間外学修（事前・事後学修） / Independent Study Outside of Class	
事前学修 あらかじめ、各回の講義の理解を促すための情報源（HPのurlなど）を提示し、事前に目を通すとともに、自治体の取り組みの事前学習など、おおむね毎回2時間ぐらいの時間が必要とされる。	
事後学修 各回の講義に関連する新聞記事などを見つけて出し、講義内容に対する理解を深める。ここにもおおむね2時間ぐらいの時間が必要とされる。	
キーワード / Keywords	富山県庁、富山市役所、コンパクトシティ、スマートシティ、未来協創、まちづくり
履修上の注意 / Notices	必ず第2ターム集中講義の始動学修：実践（富山の地域づくり）と連続して履修すること。
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書 参考書 ・大学の富山ガイド：こだわりの歩き方 / 富山大学地域づくり研究会編；大西宏治・藤本武責任編集，昭和堂 < https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opac/xc/search/%2A?os[isbn]=9784812219379 > 教科書・参考書に関するその他通信欄 特に指定しない
成績評価の方法 / Evaluation	本科目では、「達成目標」について次のような割合で評価します。 (a)達成目標（1）のうち基本的な知識（スキル・知的態度を含む）の修得に関する達成度（60%） (b)達成目標（1）のうち発展的な内容（スキル・知的態度を含む）の修得に関する達成度（20%） (c)達成目標（2）および（3）に関連した達成度（10%） (d)達成目標（4）に関連した達成度（10%） 各回の講義についてのコメント・シート 各10点×6回=60点 ワークショップについての参加の状況とコメント・シート 各20点×2=40点 最終レポート 100点 合計100点を評価する。
関連科目 / Related course	始動学修：実践（富山の地域づくり）
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	第2ターム集中講義「始動学修：実践（富山の地域づくり）」と合わせて履修すること。

授業科目名(英文名) / Course title	始動学修：実践（富山の地域づくり） / Integrated Studies: Practice				
担当教員(所属) / Instructor	大西 宏治(人文学部)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 基礎科目 社会的変化への対応（選択）				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2026年度 / Academic Year 第2ターム / Term 2 他	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目a		
時間割コード / Registration Code	103501	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3年 ,4年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00131-0400				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	大西 宏治				
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://moodle51.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2026_103501				
各種教育プログラム1 / Various educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various educational programs2	ENGINE・リテラシー科目				
各種教育プログラム3 / Various educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various educational programs5					
SDGsとの関連 / Related SDGs	4：質の高い教育をみんなに 8：働きがいも経済成長も 9：産業と技術革新の基盤をつくろう 11：住み続けられるまちづくりを				
昨年度からの改善点 / Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け（一般学修目標） / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見につながる個別主題に関連した基礎知識を身につけ、活用する力をつける（幅広い知識） ・主題に関する課題に目を向け、問題を発見する（問題発見・解決力） ・グループワークなどを通して、他者の考えを理解し、自らの考えも情報発信する力をつける（コミュニケーション能力） ・問題の解決に向けて、自分の専門性や個人的資質が果たす役割に関する理解を深める（社会貢献力）。 <p>この授業は、富山県や富山市の職員がゲスト・スピーカーとなって、それぞれが組むまちづくりについて、リレー式で授業を行うものである。</p> <p>県や市町村などの地方公共団体、そして国は、我々が暮らすまちを住みよいものにするために、様々なサービスを提供している。そのことを「まちづくり」と言い表すことがある。かつて、まちづくりは御上が行うもので、市民がそれに対して意見を出したり、自分たちで街づくりに取り組んだりすることはなかった。しかし、現在では行政は市民の声を取り上げたり、まちづくりへの市民の参画を呼びかけたりしている。そのような流れの中、富山市はどのようなまちづくりに取り組んでいるのかを知ることが、この授業のねらいである。</p> <p>実践編でまる2日観のグループワークを通じて地域課題を自分事として、その改善提案を行うことを目標とする。</p>					
達成目標 / Course Goals					

<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見につながる個別主題に関連した基礎知識を身につけ、活用する力をつける（幅広い知識） ・主題に関する課題に目を向け、問題を発見する（問題発見・解決力） ・グループワークなどを通して、他者の考えを理解し、自らの考えも情報発信する力をつける（コミュニケーション能力） ・問題の解決に向けて、自分の専門性や個人的資質が果たす役割に関する理解を深める（社会貢献力）。 	
授業計画（授業の形式、スケジュール等）/Class schedule	
富山市のゲスト・スピーカーの講義をもとに、ディスカッションを行う。授業計画は富山市と協議ののち以下のものから変更される可能性もある。	
第1日目	
第1回 オリエンテーション：未来共創の振り返り	
第2回 富山のこれからを考えるワークショップ（1）	
第3回 富山のこれからを考えるワークショップ（2）	
第4回 富山のこれからを考えるワークショップ（3）	
第2日目	
第5回 発表準備	
第6回 発表会（1）	
第7回 発表会（2）	
第8回 意見交換会	
授業時間外学修（事前・事後学修）/Independent Study Outside of Class	
事前学修 あらかじめ、各回の講義の理解を促すための情報源（HPのurlなど）を提示し、事前に目を通すとともに、自治体の取り組みの事前学習など、おおむね毎回2時間ぐらいの時間が必要とされる。	
事後学修 各回の講義に関連する新聞記事などを見つけ出し、講義内容に対する理解を深める。ここにもおおむね2時間ぐらいの時間が必要とされる。	
キーワード / Keywords	富山県庁、富山市役所、コンパクトシティ、スマートシティ、未来協創、まちづくり
履修上の注意 / Notices	必ず第2ターム集中講義の始動学修：考察（富山の地域づくり）と連続して履修すること。
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書 参考書 ・大学的富山ガイド：こだわりの歩き方 / 富山大学地域づくり研究会編；大西宏治・藤本武責任編集，昭和堂 < https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xc/search/%2A?os[isbn]=9784812219379 > 教科書・参考書に関するその他通信欄 特に指定しない
成績評価の方法 / Evaluation	本科目では、「達成目標」について次のような割合で評価します。 (a)達成目標（1）のうち基本的な知識（スキル・知的態度を含む）の修得に関する達成度（60%） (b)達成目標（1）のうち発展的な内容（スキル・知的態度を含む）の修得に関する達成度（20%） (c)達成目標（2）および（3）に関連した達成度（10%） (d)達成目標（4）に関連した達成度（10%） ワークショップについての参加の状況とコメント・シート 100点 最終レポート 100点 合計200点を100点満点に換算して評価する。
関連科目 / Related course	始動学修：考察（富山の地域づくり）
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	第2ターム集中講義「始動学修：考察（富山の地域づくり）」と合わせて履修すること。連続して履修しない場合、履修登録を受け付けない。